

第28回 定例会

日時 平成30年11月18日(日) 19:00~22:00

場所 養老の滝

参加者 7名

1 ペットと一緒にミニ避難体験振り返り

■イベント参加者 合計31名

体験参加者 16名

見学者 8名

協賛店 1名 ユア・ペティア王禅寺店

スタッフ 6名

■体験会の流れ

9:00 スタッフ集合。準備。

10:00 開会

挨拶

参加者の自己紹介

協賛店・ゲスト・関係機関職員の紹介

協賛店 ユア・ペティア店長

ゲスト ペットシェルター経験者

麻生区役所危機管理訓練担当者

体験コーナーについての説明

注意事項の確認

体験開始

ユア・ペティア店長から商品説明

ゲストの方々からの感想

自治会長挨拶

11:00 閉会

■感想

(1) 防災用品コーナー

- 通常、今回のユア・ペティアのようにペットショップが直接商品を実体的に説明してくれる機会はないので、全員に集ってもらい説明・質疑の時間を設けてもよかった。

- 自治会の他のイベントでも、このように協力してもらえるといい。
- 一度お礼に伺い、次回の協力をお願いしたい。
- 災害時に必要なペットの「水とドッグフード」の量は全員興味を持っていた。
- 展示だけだったが、プリントしたものを欲しいと言われた。次回は、配布用の資料があった方が良さそう。
- そのために、見やすい「簡易版」を作った方が良かったと感じた。

(2) 悪路コーナー

- 青いビニールシートの音が嫌いな子が多かった。ちょっと考えた方が良さそうかも。
- 「無理をしないでください」と、お願いをしたが、歩かせないと悪いと思ったのか、引っ張って歩く方が何人かいた。
- リュックの方は皆さん「こんなに思いの？」と、殆どの方が用意していない様だったので、「家庭に1ヶ月分の予備のフードを用意しておいてください」とお願いをした。「これに人間用があるのよね」とビックリしていた。

(3) クレート&テントコーナー

3-1) 体験している犬の様子

- ダンボールクレートを嫌がる犬
- 家のクレートに入れるが違うクレートを嫌がる犬
- クレートにもダンボールにも入れる犬
- クレートを持っていない飼い主さんもいた。

クレートはプラスチック製、布製、金属製と置いてあったが、皆、金属製の物で体験していた。

テントは、皆、楽しんでいただいているように思う。本当は、テントまで手が回らず、あまり見ることが出来なかった。

3-2) 自分の反省

ダンボール、クレート（ケージ）、テントと手が回らず、参加者の方々と話があまりできなかつたり、質問にも急いで答えたりとなってしまう。次々にペアが来たことに対して、上手に待っていただくなどの配慮が足りなかったと思う。

(4) 避難所受付&アンケートコーナー

- 避難所受付体験の記入やアンケート記入については、椅子に腰掛けて記

入する人がほとんどで、椅子が少し不安定の為、頑丈な椅子の方が良いかなと感じた。

- 見学者へのアンケートについては、自ら来てくれる人は無く、最初から渡しておいても良いかと思った。
- 受付体験記入の人とアンケート記入の人が同時に来られた事もあり、犬の帽子を被り替える暇が無かったので、机に置いておけば良かったかと感じた。

(5) 全体として

- 「ペットとぼうさい」ののぼり旗を立てたことで、受付もよくわかり、公園の中でとても目立ったことが良かった。
- 先週、レイアウトのシミュレーションをしたことで、準備がスムーズだった。
- 順路などを決めず、シールで体験できたことで、皆さん「待つ」ということは少なかったように思う。
- ユアペティアさんに協賛いただいたことはとても良かった。
- タープテント（ワンタッチテント）を購入したので、会場のメリハリがついていた。
- 体験が終わった人たちが、店長さんに商品の説明を受けることができたことも「間」が出来ず良かったと思う。
- チラシを見て参加した方はいなかったが、顔見知りの方をお誘いしていたので、トラブルもなく、なごやかな雰囲気だったのではないだろうか。参加者集めは大変だったが、初めての事なので返って良かったと思う。
- 記録係の写真の撮り方がとても良かったと思う。（個人を特定できない写真が多かったので、今後使えるのではないだろうか）
- メンバー考案の帽子やケージ側の注意事項、広範囲な悪路での動きを想定したシールを入れるバッグを用意したアイデア、展示コーナーでは参加者のニーズへの的確な説明がとても良かった。
- 今回は各方面の協力もあり盛況であったが、今後のやり方を検討しておく。（月日を決めて定例化するなど）
- サークルのメンバーを増やしたい。（このようなイベントで7名は苦しい。）
- サークル以外の協力メンバーをリスト化し、連絡を取れるようにしたい。それには、サークルの立ち位置、目的、目標を明文化させる必要がある。（自治会のサークルなので、輪を広げた場合の考え方）

- 質問で「ダンボールは、なぜ置いてあるのか？」と聞かれた。説明するより、パネルになった震災の時の写真を見ていただけだったので、一目瞭然だった。パネル写真は、今後も大切だと思う。
- ペットシェルター運営経験のある方が「ゲージに入った犬は、飼い主さんが見えていると吠えないが、10分位経つと吠えだす」とおっしゃっていた。ケージトレーニングの大切さを感じたが、どのように広めていくかを考えさせられた。ペットシェルター運営経験のある方のお話（講演会）をじっくりお聞きしたい。
- 参加者が多かったのは嬉しい事だった。ユアペティアさん、区役所の方、ペットシェルター運営経験のある方の参加はイベントに重みが付いたと思う。
- イベントは飼い主さんへの意識を高める効果、犬たちの環境への慣れ等の効果があると感じる。ペットとぼうさいのメンバーと犬たちも、このような体験をさせたいと思う。
- 来ていたワンちゃんはみんな落ち着いていた。しつけができていないと自覚している飼い主は、とても連れて行けないと躊躇してしまうので、できれば、ハードルを低くした体験メニューも加えたら良いかもしれない。2度3度経験することで飼い主の意識もワンちゃんも慣れていくのではないだろうか。
- 音に敏感なワンちゃんのためにどんなメニューが良いだろうか？また、検討すべき課題でもあると思う。
- 来ていた方には、ぜひ次回もリピーターになってもらえるような新しいことを一つ加えたら良いのではないだろうか。
- やはり準備は大事。事前に出すものと組み立ててみた等のシミュレーションをしていたので、開始に間に合ったのだと思う。
- 理想的なペットショップ店のまきこみ方ができたと思う。次は、ドッグランのところも加えて参加してもらっても良いと思う。

2 今後の予定

11月30日（金）18：30～武蔵小杉にて ごえん楽市説明会

1月 5日（土）14：00 地域清掃

15：00 定例会 会費 1,200円徴収

2月 2日（土）ごえん楽市

以上